

秋田大学大学院教育学研究科

心理教育実践専攻

令和7年度（第Ⅰ期）入学試験問題

心 理 学

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題冊子には、問題用紙が4ページ、解答用紙が4ページあります。
- 3 問題は4題あります。4題すべてに解答しなさい。
- 4 問題冊子（問題用紙と解答用紙）の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 監督者の指示に従って受験番号をすべての受験番号記入欄に記入しなさい。
- 6 解答は解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 7 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 8 試験終了後、解答用紙を除く問題冊子は持ち帰りなさい。

心理学 問題用紙

臨床心理学 問題Ⅰ

フェリッティ (Felitti) らは 1998 年に、子ども時代のある体験と成人後の心身の疾患との関連性を調査した疫学的研究をアメリカ予防医学雑誌 (American Journal of Preventive Medicine) に発表した。これに端を発する研究は通常、そのテーマの頭文字から「ACE 研究」と呼ばれている。

問 1

“ACE” は何の略語であるのか英語で書き、その日本語名称も書きなさい。

問 2

ACE 研究で得られた知見を具体的に説明した上で、児童虐待との関連性について論じなさい。

臨床心理学 問題Ⅱ

以下の問いに答えなさい。

厚生労働省による「職場における心の健康づくり～労働者の心の健康の保持増進のための指針～」(平成 18 年 3 月策定, 平成 27 年 11 月 30 日改正) では、4 つのメンタルヘルスケアを推進している。職場における心の健康づくり計画の策定における 4 つのケアについてそれぞれの内容を説明した上で、具体的な進め方を述べなさい。

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題Ⅰ」へ続く)

心理学の基礎的領域 問題 I

中学 2 年生の、家庭での数学の学習時間（1 日あたりの平均時間；単位は分）と、数学の通知表の成績（等間隔に調整した 10 段階評定で、数値が大きいほど成績が良いことを示す）に関する 12 人のデータを得たとする。また、各生徒の知能の高さについてのデータ（高い群か低い群かの 2 段階）も得られているものとする。具体的なデータは、以下の通りである。

問 1 から問 3 に答えなさい。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
学習時間	20	70	80	40	0	90	60	30	40	0	10	70
成績	1	8	5	7	3	7	10	9	4	4	8	2
知能の高さ	低	高	低	高	低	低	高	高	低	高	高	低

問 1

学習時間（分）、成績（10 段階評定）と知能の高さ（高・低）の 3 変数はどのような尺度水準に該当するかを答えなさい。

学習時間（分）	①	_____	尺度
成績（10 段階評定）	②	_____	尺度
知能の高さ（高・低）	③	_____	尺度

問 2

A さんと Bさんは、上のデータを利用して、数学の学習時間と成績の関連を検討しようとした。Aさんはピアソンの相関係数を算出し、 $r = 0.25$ という結果をもって、調査協力者の 12 人においては数学の学習時間と成績の関連の程度は弱いと主張した。一方で、Bさんは知能の高い群と低い群それぞれに対して、数学の学習時間と成績のピアソンの相関係数を算出し、 $r_{\text{高群}} = 0.64$ 、 $r_{\text{低群}} = 0.65$ をもって、両変数の間に比較的強い相関があると主張した。

AさんとBさんで得られた相関係数と、そこから導かれた結論はなぜ異なったのか、統計学の観点から説明しなさい。なお、説明の際に図を描いてもよい。

問 3

Cさんは上の 12 人のデータをサンプルとして、中学 2 年生一般において知能の高さによって数学の学習時間に差があるかを明らかにするために、対応のない t 検定を行った。得

られた t 値は 0.815 であった。以下のキーワードと t 分布表を利用し、 t 検定の過程と結果を説明しなさい。さらに、C さんが検定結果からたどり着く結論を述べなさい。

キーワード：帰無仮説，対立仮説，有意水準，自由度(df)，臨界値，棄却域

本文省略

出典：吉田寿夫 1998 『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』 北大路書房 を一部改変。

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題Ⅱ」へ続く)

心理学の基礎的領域 問題Ⅱ

枠内の文章は 1960 年代に発表された実験の方法についての説明文である。文章を読んで下の問 1 から問 3 に答えなさい。

本文省略

出典：鹿取廣人他（編） 2020 『心理学（第 5 版補訂版）』 東京大学出版会 を一部改変。

問 1

枠内の文章の（ ア ）と（ イ ）にあてはまる適切な語を答えなさい。

問 2

下線部の「電気ショックの回避条件づけの訓練」は、どのような手続きで行われるか具体的に説明しなさい。また、この回避条件づけの訓練では、イヌ A と B では結果にどのような違いが見られたか述べなさい。

問 3

枠内の実験方法と問 2 で説明した回避条件づけの結果から、どのような理論が導き出されたか説明しなさい。また、この理論名とそれを提唱した研究者名も答えなさい。

受験番号	
------	--

臨床心理学 問題Ⅰ 解答用紙

問1

英 語	
-----	--

日 本 語	
-------	--

問2

受験番号	
------	--

臨床心理学 問題Ⅱ 解答用紙

[illegible]

受験番号	
------	--

心理学の基礎的領域 問題Ⅰ 解答用紙

問1

学習時間（分）	①	_____	尺度
成績（10段階評定）	②	_____	尺度
知能の高さ（高・低）	③	_____	尺度

問2

問3

解答が書ききれない場合は裏面を利用すること。

受験番号

心理学の基礎的領域 問題Ⅱ 解答用紙

問1

ア () イ ()

問2

問3

理論名 () 研究者名 ()

解答が書ききれない場合は裏面を利用すること。